

# 自治体ウェブページの調査と研究

## — 地域社会と情報化(1) —

石井 和平

In this paper, I will present some researches on official webpages of local autonomies in Hokkaido. These researches focus on the webpages as an example of Internet Supported Community, but through these hard work I grasped the general idea of Information Society. I will show some facts here, that local autonomies regard the webpages as an advertisement, especially one of tourism, and that the production of them depends largely on private enterprises as an internet services provider. Finally I will also show how to research this new media in order to understand Information Society as a whole.

### 1. 問題の所在

#### 1.1 意義

本稿では、地域社会の情報化による変容といった優れて社会学的課題に加え、情報技術を（地域）社会に適用するといった情報学的側面にも関心を払いつつ、科学・技術と社会との相互関係に関わる調査の一つの実践過程を提示することを企図している。またそれは社会情報学という新しい学問領域に、相応しい対象と方法論を提供することでもある。

すでに筆者は、情報化社会を分析するための一つの理論的枠組みを示した<sup>(1)</sup>。そこでは、情報化社会を、物理層、アプリケーション層、社会層の三つのレイヤーに分け、アプリケーション層という理念的なレイヤーを、社会情報学固有の研究領域とすべきことを示唆している。情報技術やインターネットのような伝送経路といった物理層自体が、地域や個々の社会システムを直接に統制しているわけではない。逆に、発明されたり開発された科学・

技術のすべてが、直接に社会に影響を与えているわけではない。問題は、その両者がいかに関係しあっているかを明示することにある。アプリケーション層という理念的レイヤーを研究対象とし、科学・技術の社会における適合と適応過程に着目することで、情報化社会の実体を捉える有効な手段を提示できるはずだ。またこの理念的層化は、情報科学と社会科学という異なる研究領域を架橋するものであることもすでに述べたところである。

従って本稿では、社会情報学的方法論の実践を示すために、一つの具体的な調査を提示し、その方法論と過程について詳しく論じることを目的としている。しかしながら調査の過程を通じ、新たな発見もあったことも事実である。継続的な調査を行い、精錬した方法論の確立を目指しつつ、その具体的な成果を見いだしていきたいと考える。

なお本稿の一部に、研究室に属する学生達との研究成果を加えている。社会情報学部に

在籍する学生達にとって、研究室に属し、社会的に意味ある研究の成果を共同で生み出すことは、学習意欲を高め学部の存在意義を高めるものになるであろう<sup>(2)</sup>.

## 1.2 先行事例

筆者は、現在、地域社会における情報化について集中的に研究を進めている。情報化社会（あるいは情報社会）の内実を調べ、正しく分析・評価するためには、広範な知識とインテンシブな調査による実証的過程を含めねばならない。また社会学的な研究の過程の中から何らかの社会的ニーズを探り出し、その具体的な成果を発表することにも意義がある。本稿では、インターネット、特にウェブページ<sup>(3)</sup>に対象を絞り、自治体のウェブページの現状分析およびそこから見いだされた新たな課題について考えていく。インターネット上で展開するウェブページこそ、情報化社会の新しいメディアの姿を予期させる。同時に、可能性とは逆に、ウェブページの限界も見いだせるはずである。

では、地域社会全体の中で、なぜ「自治体」のウェブページに対象を絞ったのか。それは、もちろん地域社会の情報化を、自治体が率先しなければならないからであり、また事実、自治体の情報化政策もインターネット上のウェブページの立ち上げを優先事項にしているからである。他方、企業や個人が作るウェブページは、その表現や内容に自由度が高く、当然ながら制作上の制約は少ない。またそのウェブページが地域社会に与える影響も相対的に小さい。

地域社会と情報化という課題において、自治体のウェブページを調査対象に絞り込むことは、調査の範囲を狭めるという便宜的な理由のみではなく、課題を明白にする上でも有効だからである。だがまた、地域社会にはさまざまな地域活動家や民間団体の存在が見いだせる。興味深いことだが、自治体のウェブページ調査からは、自治体という存在を越

えて地域固有の状況を見いだすことができる。地域という制約の中で、地域の活性化という名目で立ち上げたウェブページ成立の過程に、多くの人と団体が関与しているのである。調査の対象を自治体のウェブページに集中することで、また地域の情報化政策に関係する地域社会全体の構造を明らかにする可能性もある。

ところで地方自治体のウェブページによる情報発信の現状については、比較的初期の例としては、野村総合研究所による調査(1996年6月12日現在)がある。この調査は、ネットワーク検索と運営者へのアンケートによっている。当時の状況を簡単に記せば以下のようなものだ<sup>(4)</sup>。今日の状況と比較するため、ここでは簡単に紹介したい。

まず、調査時点で、自治体が関与する地域情報のウェブページは798件であった。内、都道府県が39件、政令指定都市が11件、市区町村が746件であった。その中で、自治体が単独で情報を発信している事例(56件)と複数の自治体が一つのサーバから情報を発信する事例(227件)とを分けて考えているが、インターネットのインフラが整備されている現在は、もう少し正確な調査が必要となろう。

また、自治体の関与する地域情報ウェブページは、1994年7月にはじめて開設されて以降、1995年8月以降に急速に増加してきたという。多くの自治体がウェブページを立ち上げている現在、ただ量を問題にすることは、国内に限れば意味が無くなっているのは確かだろう。

さて自治体のウェブページというのも、やや問題ある表現である。上記の調査でも、自治体の関与の度合いから、798件の事例は二種類に分けて考えているのである。一つは、自治体が公式に情報を受発信している場合(333件)であり、二つめは、公式ではないが提供情報を監修するなどの場合(465件)である。今回の筆者の調査では、公式なウェブ

ページというのはかなり増加してきており、その点では、自治体の関与の度合いは明らかに高くなっているのが分かる。ただし、プライバシ自身が自治体のかわりに地域密着型のウェブページを立ち上げている場合もあり、自治体のウェブページの実状はそれほど明快なものではない。

最後に、自治体によって提供された情報の内容では、首長の挨拶、自治体の概要、公共施設の案内などの一般的な情報が多く、観光、イベント、物産関係のものがそれについていた。今回の調査との比較からいえば、本調査地が北海道ということもあり、明らかに観光主体のウェブページづくりに特色があり、情報提供の目的の明確化が進んだことが分かる。

野村総合研究所による統計的調査方法は、ウェブページ運営者に対するアンケートの結果によるものであり、回答の得られなかつたウェブページについては、公開されている情報をもとに野村総合研究所が判断したものだ。実は、同研究所による自治体関連のウェブページは、三種類に分けられる。一つは、自治体の公式の情報を提供しているページ(公式ページ)、二つ目は、公式ページではないが提供情報は自治体の確認や監修を得ているページ(準公式ページ)、三つ目は、自治体行政とは関係なく、ボランティアで情報を提供しているページ(非公式ページ)である。

非公式のボランティアによるウェブページには、情報の責任所在やその信頼性が不明な場合も多い。しかしながら、まだまだ非公式なウェブページしか存在しない地域も存在する。また、量的・質的に公式なウェブページを凌駕する場合もあるだろう。実のところ、何が公式のウェブページとして相応しいのかの議論もまだない。

いずれにしても、自治体関連のウェブページを数量化する場合の困難な点は、「公式」の定義にある。北海道の場合は、比較的

公式なウェブページである旨の記載が多いが、他の県の事例も調べていくと、判別に困る例も多い。非回答も多く、結局は、調査者の閲覧作業に負うこと多くなる。統計データといえども、そのデータ自体が主観的な仕分けによっていることを強調したい。先行調査は多くなく、調査の方法論自体、まだ確立されているとはいえない。方法の確立と継続的な調査が必要である。

### 1.3 現在の状況

次に、現在の北海道の自治体の現状を簡単に見ていきたい。例えば、夕張市のウェブページは、開設以来、1年間で47万件のアクセスを記録している。観光地夕張としての知名度に加えて、電子メールによる問い合わせすべてに回答を出すなど、市側のこまめな対応に理由があるという。回答の内容も、観光パンフレットの送付依頼、夕張メロンに関する質問、ダムで水没する鹿島地区の現況問い合わせなど多岐にわたっており、システム情報課(どの部課がウェブページの担当かも着目すべきであろう)では、広告媒体としても利用価値は高いという<sup>(5)</sup>。

確かに、「広告媒体」としてのウェブページの効果は高い。必要度の低い情報を掲載していたり、改訂の頻度の低いウェブページもあり、当然ながらアクセス数も少ない事例も存在する。この意味では、夕張市のウェブページは成功例といえよう。だが、自治体のウェブページが単なる広告媒体でよいわけではない。広告媒体としてなら、別の機関が代替しても十分なはずだ。電子メールへの返事という形態も、閲覧者の質問に依存し、個別的・散発的ならざるをえず、双方向性を持った媒体利用としては不満が残る。

ウェブページを町おこしに活用する事例は多いが、インターネットという特性を活かしたウェブページはまだ少ない。だが、例えば上川管内東川町は、道内の自治体としては千歳市に次いで早くウェブページを開設

し、町おこし事業である全国高校写真選手権(写真甲子園)では、全国からの高校生をデジタルカメラで撮影してすぐにウェブページへ掲載するような機動性と速報性あるページ作りをしている。

単独の自治体の企画によるウェブページとは異なり、複数の市町村の共同事業によるウェブページの立ち上げ事例も存在する。例えば、網走支庁管内26市町村による共同事業(オホーツク・インターネット)は、地域振興を明確に企図したものである。インターネットへのアクセス環境の整備も民間のプロバイダに代わって行っている。網走市長が委員長であるオホーツク委員会が運営し、国や道の機関や市町村など132団体が属している。

民間主体のインターネット活用による地域活動団体も、多数存在する。ウェブページの立ち上げだけではなく、電子メールの配信による情報サービスを行っている団体もある。電子メール、特にメーリングリストは、単に情報の発信媒体だけではなく、他者との仲間意識を強化する機能がある。自治体によるインターネットの認識が、「広告媒体」に留まっているのは、自治体の存在意義を考えれば残念なことだ。

しかしながら総じて、北海道におけるインターネット、特にウェブページの立ち上げ事例は多いといえる。これは地域の活性化政策として、インターネットを利用した情報の開示が急務だからである。だが北海道の場合、観光という大きな産業がある。よって、ウェブページは、そこに属する地域住民を対象にしたものよりも、外部の観光客を対象にしたものになりがちであり、掲載情報も観光案内に傾斜した内容が多いはずである。今回の北海道の自治体ウェブページ調査は、その内容から観光客対象と地域住民対象とに区別することから始めた。

## 2. 調査方法論

### 2.1 調査に関わる問題点

自治体のウェブページ調査には、統計的なデータ化が、まず必要となろう。これは量的な調査といえる。だが既に述べたように、数量化するには基本的な点での困難さが伴う。「公式」の意味が不明であり、また当事者への追跡調査が必要となるが、未回答の場合の判断が曖昧になるからである。逆に公式と称すウェブページが、あまりその機能を果たしていない場合もある。ボランティアによる「非公式」なページの方が、量的・質的に高い場合もある。またそもそも自治体のウェブページが果たすべき役割は何かという根本的な問い合わせにも答えねばならない。

量的なデータ収集とは別に、丹念なウェブページの閲覧作業をすることで、いわゆる質的な調査も可能になってくる。これは、普通言われるようなインテンシブな調査という意味だけではなく、ウェブページ自体を対象にした「内容分析」に近いものが可能になるということだ。一方、ウェブページのデータ収集と分析作業とは別の調査も可能である。これは自治体の当事者に直接質問することで、上で述べたようなウェブページ自体から発見できる事実の確認作業や、また逆に、ウェブページの閲覧では不可能な事実に当たることができる。この場合、自治体の当事者とは、当該ウェブページの提供者だけではなく、その制作者やプロバイダも含まれる。

繰り返せば、自治体の情報化政策の主要課題といえるウェブページ立ち上げ事例に関する調査には、大きく二通りの方法が考えられる。一つは、ウェブページ自体の量的、あるいは質的調査であり、もう一つは、ウェブページの提供者に対する質問調査である。両者の調査法を相互補完的に用いることで、より精度と質の高い意味ある調査が可能になるはずである。

一見すると、ウェブページ自体の調査は

簡単なように思われる。数量化の手順や評価の仕方も明快のようだ。例えば、首長の挨拶や写真の存在、もう少し内容に関わったとしても、挨拶が誰に向かってなされているのかによって、ウェブページの対象が外向けか内向けかが容易に分かる。この挨拶の対象者の明示化は、ウェブページの目的が、観光案内か地域住民向けかを判断する大きな材料となろう。町の紹介という同一の宣伝効果を目的としたウェブページも、観光広告か地域住民サービスかによって異なる内容を含んでいるが、それはページの内容分析によって明らかになる。

客観的な内容評価が可能なのは、上述した首長の挨拶文や、当該地域へ至る手順を示した地図の有無など、比較的の量化が簡単な場合である。当該地域までのアクセス手順については、例えば、大都市からのアクセス方法が書かれていた場合や、日本の全国地図まで掲載して位置を明示する場合、明らかにその対象者がそこに住む住民ではないことの証となる。

このような客観的な評価基準を作ることは、グループ調査の利点を活かしたものである。事前の評価基準の設定をすれば、後の作業が一人でできるようになる。今回の調査のように多数のウェブページをグループで対象にする場合の強みと言える。

だが、この評価基準の事前設定は、反面、かなり難しい問題も含んでいるのも事実である。特にグループ調査の場合、調査者によって評価に散らばりが生じやすい。また先行事例でも説明したように、ウェブページ担当者からの回答が得られない場合に、実際の閲覧で判断するために何らかの内容分析を行わねばならない。明快な判断や評価が下せないようなグレーゾーンの存在は、ウェブページの表現には幾らでもあり、誤った評価が数量化の意味を大きく損ねる可能性がある。

ウェブページ自体の調査が、調査者自身

の評価や判断に依存する以上、グループ全体での評価基準が曖昧になる恐れは大きい。より一層の客観的な評価基準作りが必要な所以である。

またウェブページ調査には、別の大きな問題もある。これは、ページの更新が頻繁な場合である。また複数のホームページ（この場合はホームページでよい）を、同一の自治体が、関連事業として持っている場合もある。今回、紹介した卒業研究の中でも述べられ、また、筆者自身によても容易に確認できた問題である。より意味ある研究成果を行うためにも、パネル調査のような一貫性と連續性を持った調査を望みたい。

テキスト読解のようなルーチン化しやすいゼミナール活動と異なり、研究活動内容の固定化と複数年度にわたる調査研究には、当然ながら様々な問題も生じよう。特に、院生を持たない研究室活動を、有機的なつながりを持って毎年引き継いでいくのは困難なことだ。しかしながら、継続性を持った研究の意義を理解し、また、その中から自らの問題意識を発露させ、自主的な研究意欲が生じること、またその結果として新たな発見を見いだし、そこに喜びを得ることなど、研究室一丸となった課題への探求には利点も多いと考える。

## 2.2 調査方法論の確立

ウェブページ自体の調査に関わる問題に比べると、ウェブページ提供者への質問調査は比較的問題が少ない。また従来の方法を踏襲することもできる。さらに幾つかの新たな方法を用いることも可能だ。

例えば、電子メールの利用は、最も有効なものといえる。ウェブページには、多くの場合、質問や連絡先としてメール・アドレスが掲載されている場合が多い。ウェブページの調査閲覧で、より確かな情報を得たい場合、電子メールは確かに便利な方法である。

しかしながら問題も当然ながら存在する。

例えば、自治体のウェップページ調査に限っても、提供者とウェップページ自体の作成の委託請負業者またサーバの所有管理者に相違がある場合がある。ウェップページの責任の所在や詳しい作成過程など不明であるばかりではなく、未回答の場合が多くなる恐れがある。この場合は、電子メールの限界と言うよりは、通常の書類による調査票の場合でも同じであろう。この問題は、調査票自体にあるのではなく、対象の特殊性にあるといえる。

上で述べたように、電子メールも、既存の調査票郵送方式と同様に、調査を依頼する形態での調査手段といえる。だが、インターネットの普及とウェップページの一般化は、別に新たな調査手段をも提供する。インターネット上での公開アンケート（調査）は、その一つである。この場合、明らかに被調査者の属性は限定的であり、想定すべき母集団との乖離は拡大する。一方、わざわざ調査に答える（応える）ために当該ウェップページまでアクセスするのは、かなり積極的な行動ともいえ、結果的に無作為な抽出ではなく有為なデータ収集方法となるが、統計的データ以上の意味のある回答を得る可能性もある。

地域社会における情報化を調べるのに、自治体のウェップページに対象を絞った調査を考えてきた。だが、このような調査意向は、単なるウェップページ調査を越えて、広く情報化社会一般を考えるきっかけになる。インターネットのような急速に広がった（プロトコル自体は技術的にはそれほど新しいものではないが）社会基盤の上で、科学・技術が社会にどのような影響を与えるのか、またその逆の関係についてはどうか、一つ一つ検証する必要が出てくる。

ウェップページに用いられている技術は何か、また必要とされる技術は何か、場合によっては新たな応用技術の開発を行わねばならないかもしれない。これは情報科学の得意領域である。また他方、地域振興を明確に企図し

た共同事業の存在にみられるように、地域社会やそこに住む住民などの社会学的な背景に基づく丹念な社会調査も必要になろう。今回の調査は、社会情報学固有の調査事例であるのは既に述べたとおりである。だがアプリケーション層の分析の成果を元に、既存の分野（情報科学あるいは社会科学）により特化した研究を行うこともできよう。情報化社会を三つのレイヤー（物理層・アプリケーション層・社会層）へと層化して考える一つの意義はここにある。

### 3. 調査報告および経過報告

#### 3.1 調査の課題と概略

すでに述べたように本稿で一部紹介する調査は、卒業論文の課題でもある北海道に限定した自治体公式（あるいは準公式）ウェップページ調査である。しかしながら北海道の自治体との比較から、別の複数県の自治体の公式（あるいは準公式）のウェップページの研究調査も目下進行中である。この調査では、内容の確認も含め、資料に見られるように、ウェップページ提供者への直接の質問票も新たに作成している<sup>(6)</sup>。予備的な調査の結果を踏まえ、ある程度の内容ある質問票にしたが、さらなる改良を求める。

調査の開始前による仮説段階においても、また調査後の結果を見ても、北海道の自治体ウェップページは、明らかに観光宣伝、あるいはその町の紹介に力を入れている場合が多い。この状況は他県においても同様のようだ。だが、地域別にウェップページにやや相違も見いだせる。例えば、一見すると公認のウェップページだが、実はプロバイダのような民間の委託あるいはボランティアによる非公式なウェップページがその代理をしている場合も見いだすことができた。この違いは何に基づくものなのか。これはインターネットの社会的整備の度合いによるものなのだろうか。この問題に關係して、筆者自身は北海道のウ

エップページのサイト分析を試みている。後ほど紹介したい。サイト管理の母体を調べるような新しい調査対象を設定することで、インターネットを用いた地域活性化活動の現状把握が可能なのである。地域社会の情報化に関する研究の中で、自治体ウェブページに特化する新奇性は確かにあるといえる。

### 3.2 北海道自治体のウェブページ

#### 調査結果

既に述べたように調査の直接の目的は、北海道のウェブページが、観光のためか地域住民のためかを詳しく調べることにあった。この調査自体は、1997年度4年生5人（川村拓、斎藤卓磨、鈴木正憲、宮坂好緒、山口創）による卒業研究の成果となって結実した。だがまた、調査を進める上での問題点発見を含め、調査自体の方法論を確立する貴重な先行調査となったことも確かである。

調査は、北海道の自治体の公式（あるいは準公式）と思われるウェブページを、まず選び出すことからはじめ、最終的には内容の評価（ある種の内容分析）を行った。当該調査者5人が、それぞれ北海道自治体（網走支庁管内、胆振日高支庁管内、十勝支庁管内、釧路根室市長管内、石狩後志支庁管内、渡島檜山支庁管内、留萌宗谷支庁管内、上川空知支庁管内）の中から担当地域を選び、そのウェブページの内容をしらみつぶしに見ていくのである。そして疑問点や確認事項が見つかれば、各自が自治体に直接に尋ねるという方法を探っている。

観光案内と住民サービスとしての広報を兼ねたウェブページが理想であろうし、また実際のウェブページも一応はその両者を含んだ形態を取っている場合が多い。しかしながら、観光広告的か地域住民への広報的なものか、そのどちらに力点があるかの区別は比較的つきやすい。またその結果から、地域活性化政策の一環として期待されるウェブページの位置づけも明白になる。

その評価であるが、例えば閲覧対象者が誰かによって、外向けか内向けかの判断が容易につく。具体的には、市長の挨拶の内容で、語りかける相手が明示される。この例は、後ほど紹介する。また外向けのウェブページ、つまり観光案内を目的としたウェブページの場合、その町の概要と決まり切った紋切り型のキャッチフレーズによる歴史的な由来紹介記事によって判断することもできる。

また地域住民向けの場合、調査項目として挙げたキーワードの有無などは客観的な判断材料となる。例えば、市町村の政策方針、公共予算の結果報告などの記事内容によって判断がつくだろう。さらに地域の住民にとって実際に役に立つ情報かどうかが、ウェブページを見ていく上での現実的な判断基準といえる。主観的ではあるが判断基準としては重要なのだ。「もし自分がその地域の住民であり、広報を読んだとして何が自分の為に役立つ情報で何が役立たない情報か（鈴木）」という基準の設定は、事前の十分な討論と同意が必要とはいえ、現実的なものだ。調査者らは、以下のような情報が地域住民の場合、実際に役に立つウェブページであると考えている。町の福祉施設の詳細説明（網走支庁管内）、公民館での体験学習・町の絵画コンクール結果・店舗のオープン（胆振日高支庁管内）、O-157の予防対策・老人福祉施設の紹介・成人予防対策（十勝支庁管内）、災害に対する備え・図書館の説明・インターネット新聞（根室釧路支庁管内）、陶芸教室のお知らせ・防災情報・気象情報（渡島檜山支庁管内）、広報のダイジェスト版（留萌宗谷支庁管内）、図書館の蔵書情報、熊出没注意警告（上川空知支庁管内）等々である。

彼らの調査したウェブページは、125市町村の公式（準公式）ウェブページであった。だが筆者の調べでは、1997年度末の調査集計時点で北海道の全自治体212の内、162市町村が、ほぼ公式のウェブページを立ち

上げていた。この集計数の違いは、調査の終了時点の相違もあるが、何をもって公式のウェップページであるのかを判断する明快な基準がないことにも依存している。しかしながら前述したように、これは「公式」の解釈の差による部分が多く、自治体のウェップページ立ち上げ黎明期の過渡的な問題点に過ぎなくなるのではないかと考えられる。公式のウェップページのない自治体の存在自体が珍しくなる状況がすぐに現れるだろう。

ところで、彼らの判断によれば、125の自治体のウェップページの内、どちらかといえば地域住民を志向しているのは、14の市町村のウェップページに過ぎなかった。また支庁管内別の集計では、網走支庁管内では、市町村(26自治体)すべてがウェップページを作成している。逆に、石狩後志支庁管内では30市町村の内、わずか6の市町村がウェップページを立ち上げているに過ぎない結果になっている。

統計的（もちろん単純集計に過ぎないが）な集計結果の中で興味深い結果もあった。例えば、首長の挨拶およびその顔写真の掲載率である。首長の挨拶のあるウェップページは41事例であるが、最もウェップページの立ち上げ率の高かった網走支庁管内が、一番低い結果となった。また顔写真の掲載に関しては、渡島檜山支庁管内の事例で、なんと8割近くのウェップサイトが写真の掲載をしているのである。これらの問題については、筆者によるウェップサイトの調査概要の中でもう少し説明したい。

いずれにしても北海道の自治体ウェップページが、地元住民向けではなく、観光案内や町の紹介の比重が高いという調査結果になったことは確かである。より明確で標準化された調査項目を作成し、再度の調査を試み、結果の追認作業を試みることが今後の課題といえる。

内容の分析からもまた興味深い報告があつ

た。ウェップページにおける首長の挨拶文内容の類似性（鈴木）もその一つである。彼によれば、挨拶文の内容の多くには共通性が見られ、それは当該地域の位置の説明から始まり、開拓の歴史、気候・自然の説明と続き、最後に「ぜひお越し下さい」といった口調でまとめられている。しかもこの挨拶内容自体は、町の概要紹介記事との重複に過ぎないのである。確かにウェップページという新しいメディアへの掲載であっても、首長の挨拶自体は極めて定型的になるのは仕方がないであろう。だが、この類似性によって、首長（あるいはウェップページ担当者）におけるウェップページの公開が、観光案内を目的としていることは確かに証明できるのである。

実際の自治体ウェップページの作成手順も興味ある報告（山口）である。網走支庁管内のウェップページに限定しているが、他の地域でもおおよそ同じ手順であると思われるのとここで紹介したい。まずウェップページ（彼自身の表現ではホームページであるが）は、各自治体自身による企画の段階から始まる。これは各役所のウェップページ担当者が、レイアウトや掲載する情報などウェップページの果たす役割やその対象者などを考慮しながら原案づくりする段階である。次に、各自治体と業者との話し合いの段階がくる。ここでは自治体独自の原案がそのまま通るわけではなく、制作側の意見も取り入れて「よりクリエイティブな」ウェップページの企画ができる。業者によるウェップページの作成が次の段階であるが、網走支庁管内のウェップページはすべて同一の業者が作成している。最後に、自治体によるウェップページの手直し段階がある。ここで重要なことは、管内のウェップページはすべて網走市役所内にあるオホーツク委員会が管理・統制していることである。また同委員会によるウェップページの作成勉強会などによって、自治体自身のウェップページ作成技術能力は高まって

いるという。

ウェップページの作成に関しては、上記のような手順を多くの自治体が用いているのは確かであろう。しかしながら、ウェップページに関する責任の所在や運営母体については、自治体と委託作成業者だけではなく、ウェップページの置かれているサーバの管理者や所在も重要な意味を持っている。インターネットを活用した地域の活性化には様々な団体や人が関与しており、網走支庁管内の事例は、オホーツク委員会の存在も含め、地域の固有性として理解すべきだと考える。

### 3.3 ウェップサイト調査

既に述べたように、上記の調査でも幾つかの興味ある問題が提出されている。例えば、網走支庁管内のすべての自治体が、なぜウェップページを立ち上げることができたのか。また首長の顔写真を、多くの渡島檜山支庁管内の自治体が掲載しているのはなぜなのか。これらの問題については、筆者によるウェップサイトの数量的分析が参考になろう。

まず資料にある、北海道内の自治体公式あるいは準公式サイトを見ていただきたい<sup>(7)</sup>。1997年度末現在、サイトの数は全部で260である。同一の自治体が複数のウェップページに公開あるいは紹介されている場合も多く、実際の自治体の数はその内の162市町村であった。

資料を一覧すれば分かるように、自治体自体が、IPアドレスおよびドメインネームを取得している事例は少ない。例えば、札幌市の場合は、URLから、“city.sapporo.jp”を取得していることが分かる。また、標茶町は、“shibecha.hokkaido.jp”的ドメイン名を取得している。ドメイン取得の一貫性のなさも見逃せない。資料には、都道府県公式サイト一覧を掲載したが、市町村の自治体も、独自のドメインを取得し、その存在を明確にすべきであろう。

実は、このような事例でもウェップサーバ

を独自に立ち上げているのか、あるいはいわゆるレンタルサーバを借りているのかは判別できないので、実際にサーバの運営まで自治体が行っている場合はもっと少ないのでないかと考えられる。サーバの管理・運営が独自にできれば、インターネット上の多様なサービスを自治体自ら提供できる機会を持ち得ることが可能だ。だが、現状ではウェップページを単に広告媒体として認識していることからも分かるように、インターネットを十分に活用しているとはいえない状況である。

多くの自治体の場合、既存のプロバイダ上に、サーバを置くのが普通のことである。上記のように自前のサーバを管理・運営する事例は少ない。だがより興味深いのは、実際に、北海道内の自治体ウェップページの置かれているサーバの所在が、全国的なプロバイダではなく地域的（ローカル）なプロバイダに多いことである。

例えば、次の例を見ていただきたい。

- ・マリモネット (marimo.or.jp) : 62自治体  
サンエスマネージメントシステムズ  
(釧路の地元企業)
- ・北海道インターネット協議会 (hokkai.or.jp) : 32自治体  
北海道の各地域民間プロバイダ
- ・オホーツクインターネット (ohotuku26.or.jp) : 26自治体  
オホーツク委員会(市町村の共同事業)
- ・オーラスネット (eolas-net.or.jp) : 24自治体  
北海道録画センター(旭川の地元企業)
- ・HINET (hakodate.or.jp) : 20自治体  
函館インフォメーションネットワーク  
(函館・上磯町・大野町・七飯町と地域経済界による第三セクター)
- ・SNET (sweb.co.jp) : 10自治体  
地域総合情報センター (気象情報を提

### 供する民間企業)

以上は、明らかにローカルなプロバイダの提供する事例である。やや紛らわしい名称の組織もあるが、既に述べたオホーツク委員会を除いては、プロバイダの経営母体は地域の民間企業である。そして、ごく一部の特定のプロバイダが、自治体の代わりに多くのウェブサーバを立ち上げていることが分かる。地域の情報化には、民間の力が不可欠なのであり、これらプロバイダの母体である企業が、各地域の活性化に果たしている役割は大きい。また一部の経営者は、シリコンバレー・モデルを地域に導入し、いわゆる「市民企業家」として活動している事実にも着目すべきであろう。

地域情報化を目論む民間活動の存在を、自治体ウェブページの調査を通じて検証することも可能である。地域の活動家が、市民企業家として、地域自治体の情報政策に積極的に関わっている構図が理解できよう。

逆に、全国規模の民間プロバイダにサーバを置いている事例は少ない。例えば、枝幸町によるジャストシステム系のプロバイダ(justnet.or.jp) の例が挙げられる。またNTT自身が提供するサービスの中に地域ウェブページも14件存在するが、明らかに自治体公式のウェブページとして位置づけることができる例も存在した。このNTTのサービスも、全国的な組織づけがなされているが、実際の業務はかなり地域に依存したものである。自治体にとってインターネットを用いた情報化政策は重要な課題とはいえ、企業の力に頼っている現状がよく分かる。

統計的(単純集計ではあるが)数量化から、質的(インテンシブ)な調査へと分析を進めることで、上で述べた幾つかの問題についての説明を得ることができる。当事者へのインタビューなど従来の社会調査の手法が役に立つはずだ。

実は、同一の業者の作成によるウェブページの公開をしているのは、網走支庁管内の自治体だけではない。例えば、江差を除き、檜山管内も同じ体裁のホームページを公開している。北海道自治体の公式(あるいは準公式)ウェブページの内容は、地域による差が明らかに存在するが、その違いが特定のプロバイダあるいは特定のウェブページ作成業者との関係からきている。既に述べたように、ウェブページの作成手順は、自治体が企画して情報を集めて原案を作り、委託された業者が実際に作成し、再び自治体のもとで修正をしてから公開するといったものであった。同じ形態のページが作られるのは当然だ。

結局のところウェブページの公開が、広報課や企画課の自治体の当該部署に属する担当者だけの運営で可能になるほど組織化が進んだ段階にはないことが、ウェブサイトの分析からも分かるはずである。実のところ、網走支庁管内の自治体に首長の挨拶文が少ないので、理想のウェブページとは何かという認識が十分になされたからである。当該担当者が、作成のノウハウを積んだ結果、首長の挨拶は不必要であると考えたからであろう。また前述の学生の調査で、渡島檜山支庁管内で首長の顔写真の掲載率が高かった理由は、複数の自治体が同一のプロバイダ(および作成業者)に依頼したからなのである。同一の形式を持つことは、分かりやすいが個性に欠ける結果となる。また自治体が主体的にウェブページ作成に関わらない場合、ウェブ上の効果や反応も期待できるわけはなかろう。このようなケースにおいては、ウェブページが、自治体の企画・作成による公式ウェブページとはいはず、プロバイダの提供した地域紹介ページの一つとして位置づけられている場合が多くなる。

現状では自治体にとって、ウェブページとは、観光などの広告媒体としての存在に過ぎない場合が多い。クライアントである自治

体が、同一のプロバイダが提供する新しい広告メディア（ウェップページ）に、広報などで使用した既存情報を用いて公式サイトを立ち上げつつある段階のようだ。今までの分析からだけでも、自治体の情報化政策、特にインターネット上でのウェップページの立ち上げの実体が見えてくる。だが、インタビューや対面的な面接調査などを行い、より詳しいデータを得ることもできよう。質的な調査を行うことで、インターネットを用いた地域活性化政策の現状がどんなものかが深く理解されるだろう。

#### 4. 課題の抽出

自治体ウェップページの調査という新しい問題に対して、自治体ウェップページの位置づけや地域的差異の原因など、若干ではあるが重要な発見があった。またそこから今後の研究課題も見つかった。その幾つかは既に述べたところである。自治体の公式（および準公式）ウェップページが、広告、特に観光案内のための新しい媒体として利用されている現実は、自治体の情報化政策がいかなるものかを明示する結果となった。それは、インターネットという技術の持つ可能性の高さからいえば、やや不十分な応用に過ぎないといえる。

またその技術や応用自体、単独の自治体の力では不可能な状況であり、複数の市町村の共同事業か各地域の市民企業家の活動に依存している現状も分かってきた。インターネットといった新しいインフラを用いた地域の情報化が、一つの地方自治体の事業では困難であり、地域の情報化の活動主体についてもっと着目すべきなのである。筆者は、その活動主体を抽出する予備的作業として自治体の公式（および準公式）ウェップサイトの簡単なデータ分析を行った。またその後の調査から、幾つかの主要な地域プロバイダやそこに属する市民企業家の存在を見いだすことができた。一連の調査を通じ、地域の情報化には、

自治体の政策だけではなく、政策を先導しました継続させる民間団体や個人の存在が必要なことが確認できる。

また別の課題も生じた。北海道の自治体のウェップページを閲覧する、単純だが興味ある作業から生じたものだ。それは理想的なウェップページとは何かという新たな課題に応えることでもあった。既述の学生調査報告では、北海道という限定した地域の中でさらに地域的固有性が見られたが、網走支庁管内のウェップページには定住・企業誘致を促す情報が多いことが指摘された（山口）。ウェップページの内容と「社会的事実」との相関は当然考えられる。ウェップページが広告であるという認識は変わらないが、観光ではない地域の特色に根ざした新しいウェップページの可能性も見いだすことができるのではないか。

また今回の調査結果からは、町の紹介や観光案内の比重が高く、地元住民を対象にしたウェップページは少なかった。だが自治体の公式ウェップページは、地域固有の特色を維持しながらも、自治体らしい公的な様々な情報の公開場所となるべきである。

以下は、自治体のウェップページ担当者へ送る予定で作成した質問票の一項目、「今後、力を入れたいと思う公開情報にはどのようなものがありますか」の選択肢（質問時にはその他の項目も付加する予定）である。

- 1 観光・イベント情報（観光客向け）
- 2 防災・気象・道路情報
- 3 環境情報（公害監視情報や各種環境データなど）
- 4 自治体の財政・行政情報
- 5 議事録等、議会関連情報
- 6 農林水産の技術情報・市況情報
- 7 保健・医療・福祉情報
- 8 図書館蔵書・博物館収蔵品等の情報
- 9 公民館などの行事情報（地域住民向け）

## 10 掲示板の情報（趣味の活動や物品交換等、住民の生活に関する情報）

上記の項目には、双方向性や速報性といったインターネットの特徴を考慮した公開情報項目は少ない。だが住民の声をフィードバックできるようなページづくりも考えられるはずである。住民の行政への参加意識を高めるような、双方向的な対話システムをウェブページに取り込んだり、自治体が公開可能な情報をデータベースに保存し、市民のアクセスとデータ入手を可能にするようなシステム設計も可能ではないか。また「情報の相互乗り入れができる（斎藤）」ような関連情報の有機的なリンク化ももっと必要であろう。観光情報と交通情報、医療情報と福祉情報のリンクなど、縦割り行政の不便さを補えるような情報の有機的結合が図らねばならないはずである。

もっとも、インターネットを用いて、わが町の情報を世界に発信すると勇んでも、その内容が日本語のみで語られていたりなど、既存のウェブページの手直しをすべき点も多い。さらに情報の双方向性の強調が、逆に、データの信頼性を喪失させたり、掲載情報の責任の不在化を促す原因になるかもしれない。対処療法的な手段で解決を図るだけではなく、理想的なウェブページの探求と平行して、評価システムの確立など実行すべき課題が多い。

最後に、当該テーマの研究調査を行う上で、今後の課題を述べたい。研究室としては、引き続き自治体ウェブページの閲覧と当事者への直接的な質問を行う予定である。調査の対象地域を拡大することで、自治体の情報化政策としてのインターネットの活用現状と事例としての公式ウェブページの実体がさらに明白になるはずである。

だが一方で、この新しい調査の対象と方法の精錬も必要だと考える。その中でも重要な

のは内容分析などにおける評価測定法の開発である。既に今までの調査でも、グループ調査による、ウェブページのいわゆる悉皆調査の利点と欠点が発見されている。その中でも問題となるのが、ウェブページの特徴を見いだし判断する評価基準の設定であった。調査員全員の評価を一致させるような評価基準やその測定法を決めるのは難しい。ウェブページの内容分析の判断材料となるようなキーワードにおいて、客観的な項目を精選すべきであろう。だが既に述べたように、実際の閲覧対象者の立場に即して現実的な判断を下す必要もある。例えば、地域の住民にとって本当に役に立つ情報なのか、といった主観的な判断の加味も無視できない。ウェブページの内容分析に関わる評価法の開発は今後の重要な課題といえる。

他方、このような評価法の開発は、自治体や地域のウェブページがどうあるべきかを考え、理念化する作業の中で重要な過程となるべきものだ。調査の経験を踏まえ、地域社会の情報化を促進する上で有効となるウェブページとは何か、そのモデルを作成し提案することが最終的な課題となるはずである。

## 5. 結　語

本稿では、地域社会における情報化の実体把握のために、自治体ウェブページの調査に特化した研究報告を試みた。ウェブページという極めて限定的な調査対象であったが、様々な発見と問題点を抽出することができた。幾つかの個別調査から、自治体の公式（または準公式）ウェブページが観光案内に比重を置いたものであること、当該ウェブページが単独の自治体では作成困難なこと、またそこには地域のプロバイダの存在が大きく関わっていることなど、単純な数量化からだけでも興味深い結果を見いだすことができた。また一連の調査経験から、ウェブページという新奇な対象を捉えることの面白さと

困難さを同時に知ることができた。科学・技術の社会的応用面に属するウェブページの量的・質的調査が、優れて社会情報学的な関心を呼ぶ対象であることも確認した。本稿の意図は、社会的な事実としての自治体ウェブページそのものの調査と、このような調査を可能にする方法論自体の研究である。本稿が十分に満たすことができなかつた課題には、現在継続中の調査で応えていきたい。

## 註

- (1) 拙稿、「インターネット・支援・コミュニティ」、『社会情報学研究』No.1、日本社会情報学会、1997.
- (2) 本稿で紹介した研究調査には、下記学生の卒業研究の一部成果を含んでいる。彼らの調査実績は、調査の新奇性や重要性からも、高く評価してよい。またこの調査は、次年度の学生によっても引き継がれており、今後、継続して行うつもりでいる。当該調査参加者(1997年度現在)は以下のとおり。  
4年生：川村 拓、斎藤卓磨、鈴木正憲、宮坂好緒、山口 創。  
3年生：木村理央、有田一樹、大野玄朗、宍戸博之、富樫恭則、赤川桂一、千田康教、庭田博章、三島幸治、吉田秀一郎、及川友也、福田修一、松澤秀和、矢沢 亮。
- (3) ホームページではないことは既に別の論文で強調した。またクモの糸のようにリンクで結びついたテキスト群(ハイパーテキスト)の中から簡単に閲覧起点に戻ることができるようにホームページが存在する。
- (4) URL://www.ccci.or.jp/bctycb.html
- (5) 北海道新聞道央朝刊版 97年8月22日号
- (6) 表現を一般化するために、“ウェブページ”の代わりに“ホームページ”を用いている。
- (7) 野村総合研究所によるサイト情報を参考に作成した(1997年12月現在)。サイトのアドレス(URL)変更の可能性は常にあることを了承されたい。

## 資料

### 1. 北海道自治体ウェッブページ調査項目

- Q 1 ページの内容に関するもの  
 表紙の形態（写真主体・絵主体・文章のみ・その他）  
 その他の場合（ ）  
 ウェッブページの制作主体（自治体・委託）  
 委託の場合（ ）
- Q 2 観光案内に関するもの  
 地図の有無  
 クリックブルマップの有無  
 ホテル等宿泊施設の有無  
 イベント紹介の有無（ ）
- Q 3 首長の挨拶に関するもの  
 挨拶の有無（ホームページに存在・他のページに存在）  
 写真の存在の有無  
 挨拶の内容（外向け・地域住民向け）
- Q 4 地域住民のためのページの存在に関するもの  
 広報と同程度の情報の有無  
 その情報内容（行事・福祉・予算／決算・人口・工業／商業・その他）  
 その他の場合（ ）
- Q 5 閲覧した上の主観的判断（観光客対象・地域住民対象）

### 2. 自治体への質問内容

- Q 1 ホームページを企画している機関は、どこですか。  
 1 公的な機関（観光課、広報課など）  
 2 プロバイダ  
 3 個人  
 4 その他（ ）
- Q 2 直接にホームページ企画に関わっている人数は何人ですか。  
 1 1人  
 2 2～5人  
 3 6～10人  
 4 11人以上  
 5 わからない
- Q 3 ホームページを制作している機関は、どこですか。  
 1 公的な機関（観光課、広報課など）  
 2 プロバイダ  
 3 個人

4 その他 ( )

Q 4 直接にホームページ制作に関わっている人数は何人ですか。

- 1 1人
- 2 2~5人
- 3 6~10人
- 4 11人以上
- 5 わからない

Q 5 ホームページの主たる目的は何ですか。 (複数回答可)

- 1 地域住民の為
- 2 観光案内の為
- 3 その他 ( )

Q 6 ホームページ上で、今後、特に力を入れたい公開情報にはどのようなものがありますか、

3つ挙げて下さい。

- 1 観光・イベント情報 (観光客向け)
- 2 防災・気象・道路情報
- 3 環境情報 (公害監視情報や各種環境データなど)
- 4 自治体の財政・行政情報
- 5 議事録等、議会関連情報
- 6 農林水産の技術情報・市況情報
- 7 保健・医療・福祉情報
- 8 図書館蔵書・博物館収蔵品等の情報
- 9 公民館などの行事情報 (地域住民向け)
- 10 揭示板的情報 (趣味の活動や物品交換等、住民の生活に関する情報)
- 11 その他 ( )

Q 7 広報誌など他のメディアでは公開していないホームページ独自の情報はどのくらいありますか。

- 1 ほとんど全部
- 2 半分以上
- 3 1/3以上
- 4 すこしある
- 5 ほとんどない

Q 8 広報誌など他のメディアでは公開していないホームページ独自の情報にはどのようなものがありますか。 (自由回答)

Q 9 閲覧者からの反応はありますか。

- 1 毎日あり
- 2 週に何回かあり
- 3 月に何回かあり
- 4 なし

Q 10 閲覧者からの反応はどのようなものですか。 (複数回答)

- 1 閲覧者からの当該ホームページに関する問い合わせ・質問がある

- 2 閲覧者からの当該ホームページに関する意見・感想・苦情がある
- 3 閲覧者からの自治体の行政に関する問い合わせ・質問がある
- 4 閲覧者からの自治体の行政に関する意見・感想・苦情がある

Q 11 閲覧者の反応に対する対応はどのようにしていますか。

- 1 すべての意見に答えている
- 2 回答すべき意見のみに答えている
- 3 回答はしない
- 4 その他 ( )

Q 12 ホームページの制作に関する責任の所在はどこですか。

- 1 決まっている その所在 ( )
- 2 特に決まっていない
- 3 その他 ( )

Q 13 各グループによる地域に依存した質問項目

### 3. 都道府県公式サイト一覧

北海道 : <http://www.pref.hokkaido.jp/>  
青森 : <http://www.pref.aomori.jp/>  
岩手 : <http://www.office.pref.iwate.jp/>  
宮城 : <http://www.pref.miyagi.jp/>  
秋田 : <http://www.pref.akita.jp/>  
山形 : <http://www.pref.yamagata.jp/>  
福島 : <http://www.pref.fukushima.jp/>  
茨城 : <http://www.pref.ibaraki.jp/>  
栃木 : <http://www.pref.tochigi.jp/>  
群馬 : <http://www.pref.gunma.jp/>  
埼玉 : <http://www.pref.saitama.jp/>  
千葉 : <http://www.pref.chiba.jp/>  
東京 : <http://www.metro.tokyo.jp/>  
神奈川 : <http://www.pref.kanagawa.jp/>  
新潟 : <http://www.pref.niigata.jp/>  
富山 : <http://www.pref.toyama.jp/>  
石川 : <http://www.pref.ishikawa.jp/>  
福井 : <http://www.pref.fukui.jp/>  
山梨 : <http://www.pref.yamanashi.jp/>  
長野 : <http://www.pref.nagano.jp/>  
岐阜 : <http://www.pref.gifu.jp/>  
静岡 : <http://www.pref.shizuoka.jp/>  
愛知 : <http://www.pref.aichi.jp/>  
三重 : <http://www.pref.mie.jp/>  
滋賀 : <http://www.pref.shiga.jp/>

京都：http://www.pref.kyoto.jp/  
大阪：http://www.pref.osaka.jp/  
兵庫：http://web.pref.hyogo.jp/  
奈良：http://www.pref.nara.jp/  
和歌山：http://www.wakayama.go.jp/  
鳥取：http://pref.tottori.jp/  
島根：http://www.pref.shimane.jp/  
岡山：http://www.pref.okayama.jp/  
広島：http://www.hiroshima-cdas.or.jp/pref/  
山口：http://www.pref.yamaguchi.jp/  
徳島：http://www.pref.tokushima.jp/  
香川：http://www.kagawa-net.or.jp/kagawaken/  
愛媛：http://www.pref.ehime.jp/  
高知：http://www.pref.kochi.jp/  
福岡：http://www.pref.fukuoka.jp/  
佐賀：http://www.pref.saga.jp/  
長崎：http://www.us1.nagasaki-noc.or.jp/nagasaki/  
熊本：http://www.kings.co.jp/kumamoto-pref/  
大分：http://www2.pref.oita.jp/  
宮崎：http://www.pref.miyazaki.jp/  
鹿児島：http://www.pref.kagoshima.jp/  
沖縄：http://www.pref.okinawa.jp/

#### 4. 北海道内の自治体公式あるいは準公式サイト

札幌市 1：http://www.city.sapporo.jp  
札幌市 2：http://www.snowspr.isp.ntt.co.jp/WNN-C/ja/pro/212/12-1401.html  
札幌市 3：http://www.sweb.co.jp/spkouiki/kousei/sapporo/sapporo.html  
函館市：http://www.hakodate.or.jp/city  
小樽市：http://www.sphere.ad.jp/otaru-hc  
旭川市 1：http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/asahikawa/index.htm  
旭川市 2：http://www.arc-net.co.jp/shoukou  
室蘭市：http://www.earthcape.ne.jp/users/muroran  
釧路市 1：http://www.hokkai.or.jp/kusiro\_c/index.html  
釧路市 2：http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/kusiro/kusirosi/kusirosi.html  
帶広市 1：http://www.city.obihiro.hokkaido.jp  
帶広市 2：http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/obihiro/obihiro.html  
北見市 1：http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/kitami/kitami.html  
北見市 2：http://www.ohotuku26.or.jp/organization/kitami/kitami.html  
夕張市：http://www.dolphin.co.jp/hpr/yubari/index.html  
岩見沢市 1：http://m.iwa.hokkyodai.ac.jp/iwamizawa/index\_j.html

岩見沢市 2 : http://www2.park.or.jp/com/IWAMI/iwami\_01.html  
網走市 1 : http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/abasiri/abasiri.html  
網走市 2 : http://www.ohotuku26.or.jp/organization/abasiri/abasiri.html  
苫小牧市 1 : http://www.tomakomai.or.jp/city  
苫小牧市 2 : http://www.tomakomai.ntt.ocn.ne.jp/tomakomai/main.html  
稚内市 : http://www.city.wakkanai.hokkaido.jp1  
江別市 : http://www.sweb.co.jp/spkouiki/kousei/ebetsu/ebetsu.html  
赤平市 : http://telemart.tokeidai.co.jp/akabira  
紋別市 1 : http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/monbetusi/monbetusi.html  
紋別市 2 : http://www.ohotuku26.or.jp/organization/monbetu/monbetu.html  
士別市 1 : http://www.hokkai.or.jp/shibetsu\_c  
士別市 2 : http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/shibetsu/index.htm  
名寄市 1 : http://www.hokkai.or.jp/nayoro  
名寄市 2 : http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/nayoro/index.htm  
根室市 1 : http://www.hokkai.or.jp/nemuro/index.html1  
根室市 2 : http://mist.kushiro.isp.ntt.co.jp/wnn-c/nemuro/nemuro1.html  
根室市 3 : http://www.marimo.or.jp/~n\_city1/nemuro/jp  
根室市 4 : http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/nemuro/nemurosi/nemuro.html  
千歳市 1 : http://www.city.Chitose.Hokkaido.jp  
千歳市 2 : http://www.sweb.co.jp/spkouiki/kousei/chitose/chitose.html  
深川市 : http://plaza2.mbn.or.jp/~fukagawa/index.html  
富良野市 1 : http://www.hokkai.or.jp/FURANO  
富良野市 2 : http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/furano/index.htm  
登別市 : http://apple.earthcape.or.jp/users/noboribetsu  
恵庭市 1 : http://www.snowspr.isp.ntt.co.jp/WNN-C/ja/pro/212/12-1404.html  
恵庭市 2 : http://www.sweb.co.jp/spkouiki/kousei/eniwa/eniwa.html  
伊達市 : http://apple.earthcape.or.jp/users/date  
北広島市 1 : http://www.snowspr.isp.ntt.co.jp/WNN-C/ja/pro/212/12-1407.html  
北広島市 2 : http://www.sweb.co.jp/spkouiki/kousei/kitahiro/kitahiro.html2  
石狩市 1 : http://www.ishikari.ines.co.jp1  
石狩市 2 : http://www.sweb.co.jp/spkouiki/kousei/ishikari/ishikari.html  
当別町 1 : http://www.snowspr.isp.ntt.co.jp/WNN-C/ja/pro/212/12-1297.html  
当別町 2 : http://www.sweb.co.jp/spkouiki/kousei/tobetsu/tobetsu.html  
新篠津村 : http://www.sweb.co.jp/spkouiki/kousei/shinshi/shinshi.html 1  
厚田村 1 : http://www.snowspr.isp.ntt.co.jp/WNN-C/ja/pro/212/12-1302.html  
厚田村 2 : http://www.sweb.co.jp/spkouiki/kousei/atsuta/atsuta.html  
浜益村 1 : http://www.snowspr.isp.ntt.co.jp/WNN-C/ja/pro/212/12-1305.html  
浜益村 2 : http://www.sweb.co.jp/spkouiki/kousei/hamamasu/hamamasu.html  
福島町 : http://www.hakodate.or.jp/fukushima/default.htm  
知内町 : http://www.hakodate.or.jp/shiriuchi/default.htm

上磯町 : <http://www.hakodate.or.jp/kamiiso/default.htm>  
大野町 : <http://www.hakodate.or.jp/ono/default.htm>  
七飯町 : <http://www.hakodate.or.jp/nanae/nanae-j.htm>  
八雲町 : <http://www.hakodate.or.jp/yakumo>  
江差町 1 : <http://www.hakodate.or.jp/esashi/default.htm>  
江差町 2 : <http://www.hakodate.or.jp/hiyama/town/esashi/default.htm>  
上ノ国町 1 : <http://www.hakodate.or.jp/kaminokuni/default.htm>  
上ノ国町 2 : <http://www.hakodate.or.jp/hiyama/town/kaminokuni/default.htm>  
厚沢部町 : <http://www.hakodate.or.jp/hiyama/town/assabu/default.htm>  
乙部町 1 : <http://www.host.or.jp/net/otobecho/default.html>  
乙部町 2 : <http://www.hakodate.or.jp/hiyama/town/otobe/default.htm>  
熊石町 : <http://www.hakodate.or.jp/hiyama/town/kumaishi/default.htm>  
大成町 : <http://www.hakodate.or.jp/hiyama/town/taisei/default.htm>  
奥尻町 : <http://www.hakodate.or.jp/hiyama/town/okushiri/default.htm>  
瀬棚町 1 : <http://www.town.setana.hokkaido.jp>  
瀬棚町 2 : <http://www.hakodate.or.jp/hiyama/town/setana/default.htm>  
北桧山町 : <http://www.hakodate.or.jp/hiyama/town/kitahiyama/default.htm>  
今金町 1 : <http://www.hakodate.or.jp/imakane>  
今金町 2 : <http://www.hakodate.or.jp/hiyama/town/imakane/default.htm>  
蘭越町 : <http://www.iacnet.or.jp/~rankoshi>  
ニセコ町 : <http://sv2.camera.meshnet.or.jp/niseko/index.htm>  
栗沢町 : <http://www.dosanko.co.jp/kurisawa/index.html>  
南幌町 1 : <http://www.snowspr.isp.ntt.co.jp/WNN-C/ja/pro/212/12-1411.html>  
南幌町 2 : <http://www.dolphin.co.jp/hpr/nanporo>  
北竜町 : <http://www.dosanko.co.jp/hokuryu>  
沼田町 : <http://www.meme.co.jp/threelink/numata/index.html>  
幌加内町 : <http://www.meme.co.jp/threelink/horokanai/index.html>  
鷹栖町 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/takasu/index.htm>  
東神楽町 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/higashikagura/index.htm>  
当麻町 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/toma/index.htm>  
比布町 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/pipu/index.htm>  
愛別町 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/aibetsu/index.htm>  
上川町 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/kamikawa/index.htm>  
東川町 1 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/higashikawa/index.htm>  
東川町 2 : <http://town.higashikawa.hokkaido.jp>  
美瑛町 1 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/biei/index.htm>  
美瑛町 2 : <http://sv1.camera.meshnet.or.jp/biei/index.htm>  
上富良野町 1 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/kamifurano/index.htm>  
上富良野町 2 : <http://town.kamifurano.hokkaido.jp>  
中富良野町 1 : <http://www.furano.or.jp/nakafurano>

中富良野町 2 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/nakafurano/index.htm>  
南富良野町 1 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/minamifurano/index.htm>  
南富良野町 2 : <http://town.minamifurano.hokkaido.jp>  
占冠村 1 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/shimukapu/index.htm>  
占冠村 2 : <http://www.hokkai.or.jp/shimukappu>  
和寒町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/wassamu>  
和寒町 2 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/wasamu/index.htm>  
剣淵町 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/kenbuchi/index.htm>  
朝日町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/asahi>  
朝日町 2 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/asahi/index.htm>  
風連町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/fuuren>  
風連町 2 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/fuuren/index.htm>  
下川町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/shimokawa>  
下川町 2 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/shimokawa/index.htm>  
美深町 1 : <http://city.hokkai.or.jp/~kita/town/bifuka>  
美深町 2 : <http://www.hokkai.or.jp/bifuka>  
美深町 3 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/bifuka/index.htm>  
音威子府村 1 : <http://www.hokkai.or.jp/otoineppu>  
音威子府村 2 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/otoinepu/index.htm>  
中川町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/nakagawa>  
中川町 2 : <http://pref.kamikawa.eolas-net.or.jp/nakagawa/index.htm>  
小平町 : <http://www.meme.co.jp/threelink/obira/index.html>  
苦前町 : <http://www.voicenet.co.jp/~tomamae/index.htm>  
羽幌町 : <http://www.vtt.co.jp/haboro>  
初山別村 : <http://www.ingweb.co.jp/shosanbetu/index.html>  
遠別町 : <http://www.voicenet.co.jp/~embetsu>  
幌延町 : <http://www.dosanko.co.jp/horonobe>  
猿払村 : <http://www.eolas.co.jp/hokkaido/sarufutsu/index.htm>  
浜頓別町 : <http://www.eolas.co.jp/hokkaido/minamiso/text/hamato.htm>  
中頓別町 : <http://www.eolas.co.jp/hokkaido/minamiso/text/nakato.htm>  
枝幸町 1 : <http://www.eolas.co.jp/hokkaido/minamiso/text/esasi.htm>  
枝幸町 2 : [http://www.justnet.or.jp/home/kitami\\_esashi](http://www.justnet.or.jp/home/kitami_esashi)  
歌登町 : <http://www.eolas.co.jp/hokkaido/minamiso/text/utano.htm>  
豊富町 : <http://www.dosanko.co.jp/toyotomi/index.html>  
札文町 : <http://www.dosanko.co.jp/rebun/index.html>  
利尻町 : <http://www.tokeidai.co.jp/rishiri>  
東藻琴村 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/higasimokoto/higasimokoto.html>  
東藻琴村 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/higasimokoto/higasimokoto.html>  
女満別町 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/memanbetu/memanbetu.html>  
女満別町 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/memanbetu/memanbetu.html>

美幌町 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/bihoro/bihoro.html>  
美幌町 2 : [http://www.ohotuku26.or.jp/organization/bihoro/1\\_index.html](http://www.ohotuku26.or.jp/organization/bihoro/1_index.html)  
津別町 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/tubetu/tubetu.html>  
津別町 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/tubetu/tubetu.html>  
斜里町 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/shari/shari.html>  
斜里町 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/shari/shari.html>  
清里町 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/kiyosato/kiyosato.html>  
清里町 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/kiyosato/kiyosato.html>  
小清水町 1 : <http://www.dosanko.co.jp/kosimizu/guide.html>  
小清水町 2 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/kosimizu/kosimizu.html>  
小清水町 3 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/kosimizu/kosimizu.html>  
端野町 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/tanno/tanno.html>  
端野町 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/tanno/tanno.html>  
訓子府町 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/kunneppu/kunneppu.html>  
訓子府町 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/kunneppu/kunneppu.html>  
置戸町 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/oketo/oketo.html>  
置戸町 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/oketo/oketo.html>  
留辺蘂町 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/rubesibe/rubesibe.html>  
留辺蘂町 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/rubesibe/rubesibe.html>  
佐呂間町 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/saroma/saroma.html>  
佐呂間町 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/saroma/saroma.html>  
常呂町 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/tokoro/tokoro.html>  
常呂町 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/tokoro/tokoro.html>  
生田原町 1 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/ikutahara/index.html>  
生田原町 2 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/ikutahara/ikutahara.html>  
生田原町 3 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/ikutahara/ikutahara.html>  
遠軽町 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/engaru/engaru.html>  
遠軽町 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/engaru/engaru.html>  
丸瀬布町 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/maruseppu/maruseppu.html>  
丸瀬布町 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/maruseppu/maruseppu.html>  
白滝村 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/sirataki/sirataki.html>  
白滝村 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/sirataki/sirataki.html>  
上湧別町 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/kamiyubetu/kamiyubetu.html>  
上湧別町 2 : <http://www.bekkoame.or.jp/~hoz/town/kamiyu/kamiyuj.html>  
上湧別町 3 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/kamiyubetu/kamiyubetu.html>  
湧別町 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/yuubetu/yuubetu.html>  
湧別町 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/yubetu/yubetu.html>  
滝上町 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/takinoue/takinoue.html>  
滝上町 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/takinoue/takinoue.html>  
興部町 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/okoppe/okoppe.html>

興部町 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/okoppe/okoppe.html>  
西興部村 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/nisiokoppe/nisiokoppe.html>  
西興部村 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/nisiokoppe/nisiokoppe.html>  
雄武町 1 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/abasiri/omu/omu.html>  
雄武町 2 : <http://www.ohotuku26.or.jp/organization/oumu/oumu.html>  
豊浦町 : <http://apple.earthcape.or.jp/users/toyoura>  
虻田町 : <http://apple.earthcape.or.jp/users/abuta>  
大滝村 : <http://apple.earthcape.or.jp/users/ohtaki>  
壯瞥町 : <http://apple.earthcape.or.jp/users/sobetsu>  
白老町 : <http://vttgate.vtt.co.jp/shiraoi>  
早来町 : <http://www.tomakomai.ntt.ocn.ne.jp/hayakita/main.html>  
追分町 : <http://www.tomakomai.ntt.ocn.ne.jp/oiwake/oiwake.html>  
厚真町 : <http://www.tomakomai.ntt.ocn.ne.jp/atuma/main.html>  
鵡川町 : <http://www.tomakomai.ntt.ocn.ne.jp/mukawa/mukawa.html>  
穂別町 : <http://www.tomakomai.ntt.ocn.ne.jp/hobetu/main.html>  
日高町 : <http://www.tomakomai.ntt.ocn.ne.jp/hidaka/main.html>  
平取町 : <http://www.tomakomai.ntt.ocn.ne.jp/biratori/biratori.html>  
門別町 : <http://www.tomakomai.ntt.ocn.ne.jp/monbetu/main.html>  
新冠町 : <http://www.hokkai.or.jp/niikappu/index.html>  
静内町 : <http://www.tomakomai.ntt.ocn.ne.jp/shizunai/main.html>  
三石町 : <http://www.tomakomai.ntt.ocn.ne.jp/mituisi/main.html>  
浦河町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/urakawa/index.html>  
浦河町 2 : <http://www.tomakomai.ntt.ocn.ne.jp/urakawa/ivent.html>  
様似町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/samani/index.html>  
様似町 2 : <http://www.tomakomai.ntt.ocn.ne.jp/samani/samani.html>  
之りも町 : <http://www.tomakomai.ntt.ocn.ne.jp/erimo/tokusan.html>  
音更町 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/otofuke/otofuke.html>  
士幌町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/shihoro>  
士幌町 2 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/sihoro/sihoro.html>  
上士幌町 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/kamisihoro/kamisihoro.html>  
鹿追町 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/sikaoi/sikaoi.html>  
新得町 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/sintoku/sintoku.html>  
清水町 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/simizu/simizu.html>  
芽室町 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/memuro/memuro.html>  
中札内村 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/nakasatunai/nakasatunai.html>  
更別村 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/sarabetu/sarabetu.html>  
忠類村 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/tyurui/tyurui.html>  
大樹町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/taiki>  
大樹町 2 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/taiki/taiki.html>  
広尾町 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/hiroo/hiroo.html>

幕別町 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/makubetu/makubetu.html>  
池田町 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/ikeda/ikeda.html>  
豊頃町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/toyokoro>  
豊頃町 2 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/toyokoro/toyokoro.html>  
本別町 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/honbetu/honbetu.html>  
足寄町 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/ashoro/ashoro.html>  
陸別町 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/rikubetu/rikubetu.html>  
浦幌町 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/tokati/urahoro/urahoro.html>  
釧路町 1 : [http://www.hokkai.or.jp/kusiro\\_t/index.html](http://www.hokkai.or.jp/kusiro_t/index.html)  
釧路町 2 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/kusiro/kusirotyou/kusirotyou.html>  
厚岸町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/akkeshi/index.html>  
厚岸町 2 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/kusiro/akkesi/akkesi.html>  
浜中町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/hamanaka/index.html>  
浜中町 2 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/kusiro/hamanaka/hamanaka.html>  
標茶町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/shibecha/index.html>  
標茶町 2 : <http://www.town.shibecha.hokkaido.jp/yakuba/welcome.html>  
標茶町 3 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/kusiro/sibecha/sibecha.html>  
標茶町 4 : <http://www.town.shibecha.hokkaido.jp/hyper/PRO.HTML>  
弟子屈町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/tesikaga/index.html>  
弟子屈町 2 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/kusiro/tesikaga/tesikaga.html>  
阿寒町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/akan/index.html>  
阿寒町 2 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/kusiro/akan/akan.html>  
鶴居村 1 : <http://www.hokkai.or.jp/tsurui/index.html>  
鶴居村 2 : [http://mist.kushiro.isp.ntt.co.jp/wnn-c/tsurui/tsurui\\_1.html](http://mist.kushiro.isp.ntt.co.jp/wnn-c/tsurui/tsurui_1.html)  
鶴居村 3 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/kusiro/turui/turui.html>  
白糠町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/siranuka/index.html>  
白糠町 2 : [http://mist.kushiro.isp.ntt.co.jp/wnn-c/siranuka/siranuka\\_1.html](http://mist.kushiro.isp.ntt.co.jp/wnn-c/siranuka/siranuka_1.html)  
白糠町 3 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/kusiro/siranuka/siranuka.html>  
音別町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/ombetsu/index.html>  
音別町 2 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/kusiro/onbetu/onbetu.html>  
別海町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/bekkai/index.html>  
別海町 2 : <http://www.aurens.or.jp/hp/betsukai/default.htm>  
別海町 3 : [http://mist.kushiro.isp.ntt.co.jp/wnn-c/betsukai/betsukai\\_1.html](http://mist.kushiro.isp.ntt.co.jp/wnn-c/betsukai/betsukai_1.html)  
別海町 4 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/nemuro/bekkai/bekkai.html>  
中標津町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/nakasibe/index.html>  
中標津町 2 : [http://www.aurens.or.jp/hp/nakasi\\_t](http://www.aurens.or.jp/hp/nakasi_t)  
中標津町 3 : [http://mist.kushiro.isp.ntt.co.jp/wnn-c/nakashibetu/nakashibetu\\_1.html](http://mist.kushiro.isp.ntt.co.jp/wnn-c/nakashibetu/nakashibetu_1.html)  
中標津町 4 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/nemuro/nakasibetu/nakasibetu.html>  
標津町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/shibetsu/index.html>  
標津町 2 : [http://mist.kushiro.isp.ntt.co.jp/wnn-c/shibetu/shibetu\\_1.html](http://mist.kushiro.isp.ntt.co.jp/wnn-c/shibetu/shibetu_1.html)

標津町 3 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/nemuro/sibetutyo/sibetutyo.html>

羅臼町 1 : <http://www.hokkai.or.jp/rausu/index.html>

羅臼町 2 : <http://mist.kushiro.isp.ntt.co.jp/wnn-c/rausu/rausu 1.html>

羅臼町 3 : <http://www.marimo.or.jp/AREA/oroppas/doutou/nemuro/rausu/rausu.html>